

報道機関各位

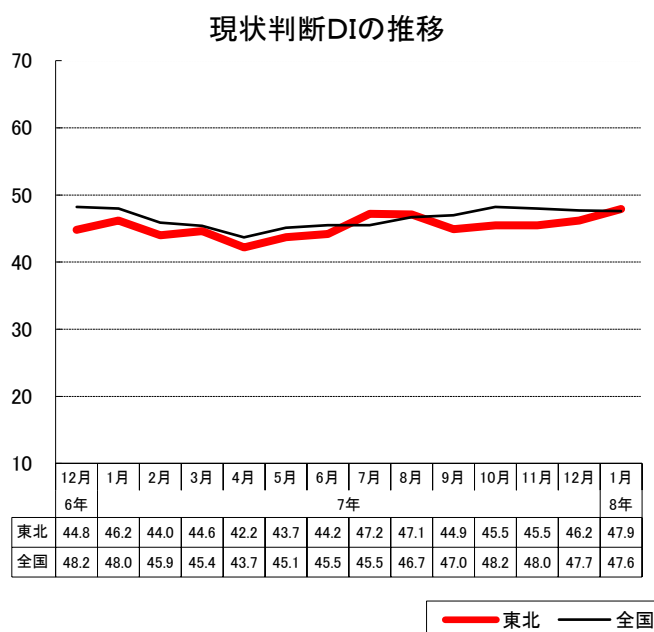
公益財団法人東北活性化研究センター
「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和8年1月 東北分
(東北6県)」について

公益財団法人東北活性化研究センター（会長：増子 次郎 東北電力株式会社 特別顧問）は、このほど「内閣府 景気ウォッチャー調査 令和8年1月 東北分（東北6県）」について、とりまとめたのでお知らせいたします。

1. 季節調整値

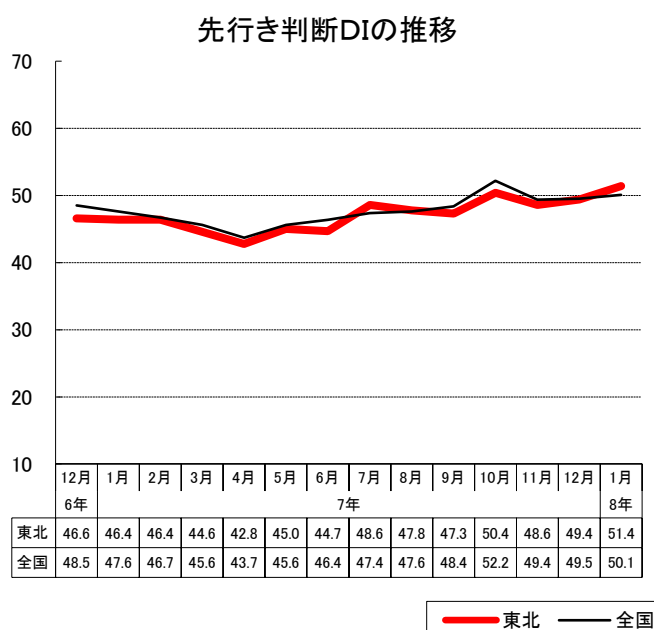
（1）現状判断（3か月前との比較、方向性）

現状判断 DI は「47.9」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+1.7 ポイント上昇した。



（2）先行き判断（2～3か月先の見通し、方向性）

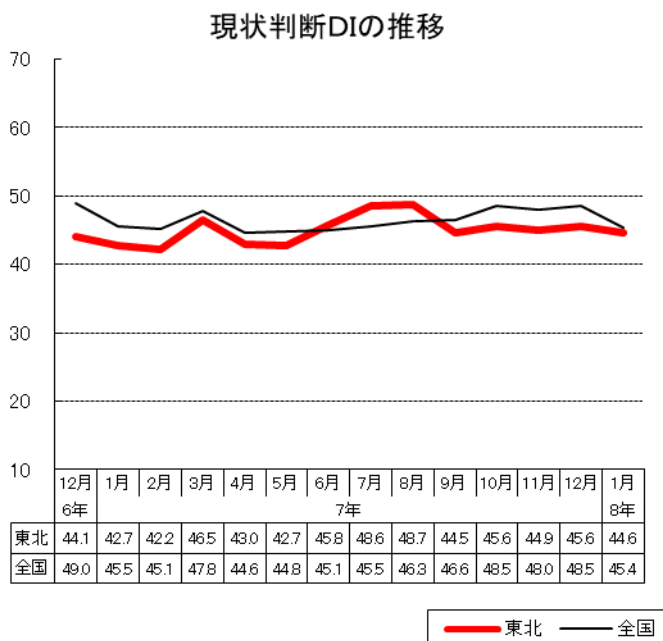
先行き判断 DI は「51.4」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+2.0 ポイント上昇した。



2. 原数値

(1) 現状判断(3か月前との比較、方向性)

現状判断DIは「44.6」と2か月ぶりで前月を下回った。前月と比較し▲1.0ポイント低下した。



○家計動向関連…百貨店、衣料品専門店等の業種でDIが前月を上回ったが、一般小売店、スーパー、一般レストラン等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「46.0」(▲0.7)と、4か月ぶりで前月を下回った。

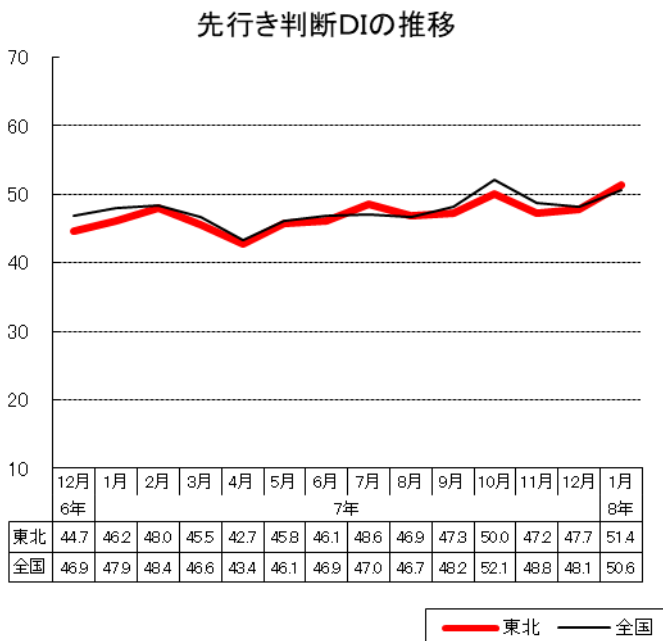
○企業動向関連…広告代理店・広告業協会、輸送業、不動産業等の業種でDIが前月を上回ったが、電気機械器具製造業、建設業、その他非製造業[飲食料品卸売業]等の業種でDIが前月を下回った。

DIは「42.1」(▲2.5)と、2か月ぶりで前月を下回った。

○雇用関連…DIは「40.8」(+0.5)と、2か月連続で前月を上回った。

(2) 先行き判断(2～3か月先の見通し、方向性)

先行き判断DIは「51.4」と2か月連続で前月を上回った。前月と比較し+3.7ポイント上昇した。



○家計動向関連…その他サービスの動向を把握できる者、家電量販店、美容室等の業種でDIが前月を下回ったが、コンビニ、観光型ホテル・旅館、商店街等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「51.7」(+4.6)と、3か月ぶりに前月を上回った。

○企業動向関連…司法書士・経営コンサルタント・会計事務所、通信業等の業種でDIが前月を下回ったが、建設業、電気機械器具製造業、広告代理店・広告業協会等の業種でDIが前月を上回った。

DIは「53.3」(+2.6)と、2か月連続で前月を上回った。

○雇用関連…DIは「46.1」(+0.3)と、2か月ぶりに前月を上回った。

<参 考>

■D I の推移（原数値）

（１）現状判断（方向性）D I

	6年	7年												8年
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
東北現状	44.1	42.7	42.2	46.5	43.0	42.7	45.8	48.6	48.7	44.5	45.6	44.9	45.6	44.6
家計動向関連	45.2	42.4	42.3	46.9	42.8	43.8	45.6	48.7	48.3	43.4	44.8	46.2	46.7	46.0
企業動向関連	43.6	43.6	44.9	44.2	44.2	42.1	47.4	48.7	51.9	46.6	48.0	43.6	44.6	42.1
雇用関連(参考)	38.8	42.5	36.3	48.6	41.7	37.5	44.4	47.2	44.7	47.4	46.1	39.5	40.3	40.8

（２）先行き判断D I

	6年	7年												8年
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
東北先行き	44.7	46.2	48.0	45.5	42.7	45.8	46.1	48.6	46.9	47.3	50.0	47.2	47.7	51.4
家計動向関連	44.8	45.5	47.6	45.4	42.3	45.9	45.3	47.9	46.8	46.4	51.2	47.7	47.1	51.7
企業動向関連	44.2	47.4	48.7	46.8	43.6	45.4	46.7	50.6	50.6	53.4	48.0	44.9	50.7	53.3
雇用関連(参考)	45.0	47.5	48.8	43.1	43.1	45.8	50.0	48.6	39.5	40.8	46.1	48.7	45.8	46.1

※D I（Diffusion Index）について…50 を基準とし、50 を超えると景気が良い方向にあることを示す。

■調査の概要

調査期間 令和8年1月25日～31日

回答者数 175/189 名、回答率 92.6%（全国 1,812/2,050 名、88.4%）

以 上

<お問い合わせ先>

公益財団法人 東北活性化研究センター（担当：木村 和也）

〒980-0021 仙台市青葉区中央 2-9-10

TEL：022-222-3394 FAX：022-222-3395

＜別 紙＞

■特徴的と思われる判断理由（ウォッチャーのコメントから抜粋）

（１）現状判断理由

○「良くなっている」

（コンビニ）…近隣の商業施設が 12 月末で閉店したため、来客数が前年比 118%と増加している。

○「やや良くなっている」

（百貨店）…物価上昇の影響はレジ通過客数の減少からも推察できる。セール期間に入り、久しぶりに衣料品や雑貨が活発に動いているが、気温の低下とともに来客数は減少している。

（家電量販店）…ガソリン等の価格が下がり、客に余裕が出てきた様子がうかがえる。また、寒さの影響により暖房器具が好調である。

（乗用車販売店）…生産台数が改善されつつあり、直近の販売台数はほぼ前年並みまで回復している。納車が進むことで中古車の在庫も多くなっている。

（その他専門店〔靴〕）…寒波が襲来し、低温と降雪により、長靴やブーツなどの冬物商材に動きが出ている。

（その他サービス〔自動車整備業〕）…物価高による仕入コストの増加はあるものの、賃上げの影響もあり、販売価格を上げたにもかかわらず販売量は伸びている。

（広告代理店）…人材不足から、企業広告のニーズが高まっている。既存顧客でも、予算を増額してプロモーションを強化する動きがある。

○「変わらない」

（スーパー）…年末以降、客単価が前年を超えており、売上がやや良好に推移していた。しかし、正月が明けてからは天候の影響もあり、来客数が減少している。景気は横ばいである。

（衣料品専門店）…セールのスタートによって来客数は増えたが、低単価商品の購買が多く、客単価が上がらない。

（高級レストラン）…年度末にかけて少し予約が伸びているが、季節要因による一時的なものと捉えている。

（都市型ホテル）…雪のシーズンであることに加え、タイからの直行便の影響により、インバウンドが増えている。

（競艇場）…来場者は常連客のみであり、来客数及び客単価に変化はみられない。

（その他住宅〔リフォーム〕）…物価高により、高額な工事の先送りが増えている。中でも屋根と外壁の塗装工事が著しく減っている。一方で軽微な修繕工事及びガス給湯器、システムコンロの交換は増えている。

（公認会計士）…顧客の月次、決算状況から判断している。製造業、建設業関係は相変わらず売上が上がらず、業績が悪い。サービス業、小売業は好調を維持し、飲食業も一定の売上、利益を確保している。全体としては、製造業、建設業の悪い状況が足を引っ張り、やや悪い状況である。

（人材派遣会社）…来期の採用計画はまだ固まり切っていない状況である。年度内の採用計画は予定していた進捗に遅れが出ている会社も見受けられる。特に採用職種の偏りが発生しており、技術系職種の採用など専門職の人材確保については苦戦が続いている。

（学校〔専門学校〕）…求人件数や求人内容は前年とほぼ変わらない。

○「やや悪くなっている」

（一般小売店[酒]）…年明けは雪も少なく、新年会等で人の動きもあったが、中旬以降は寒波の影響により降雪量が急激に増加し、暖房費や除雪費等の負担が大きくなったため、消費行動の抑制につながっている。また、除雪などで肉体的な疲労も大きく、人の流れが停滞している。雪国である以上、雪が降らなければ景気は回らないが、降りすぎても大きな影響が出てしまう。

（一般レストラン）…1月は来客数が減る時期だが、例年にも増して少ない。外食控えが顕著になっている。

（観光型旅館）…個人客が少ない。インバウンドは団体が中心だが数は少ない。来客数は全体的に少ない。

（通信会社）…サービスエリアを拡大し、加入促進キャンペーンを展開しているが、物価高の影響を受けて娯楽への支出は優先順位が下がっているようで、放送サービス、通信サービス共に新規加入者が伸び悩んでいる。大雪寒波の影響によって灯油使用量が通常の2～3倍と大幅に増加し、生活費に係る暖房費の割合が大きく拡大したことも影響していると考ええる。

（電気機械器具製造業）…パソコンに使用するメモリの入手難が続いており、受注量はやや減少している。

（輸送業）…前月の地震で被害を受けた荷主製造工場では、修繕の遅れで生産量を回復できず、構内作業や輸送関係で売上が落ち込んでいる。また、大雪の影響により、輸送に影響が出ており取扱数量が減少している。

（不動産業）…長期金利の上昇に伴い、住宅ローンや事業用ローン金利が上昇し、マイホームや収益不動産の購買力が鈍化している。

（その他非製造業[飲料品卸売業]）…12月に出荷した分の在庫が残っている。1月の市場での消費が鈍っているためとみている。

（新聞社[求人広告]）…新年の求人広告企画に掲載する企業がなかった。

○「悪くなっている」

（美容室）…寒いため客足が悪くなっている。

（建設業）…例年冬は案件が減少するが、今年も変わらない。特に公共工事はほとんどない状況である。

（2）先行き判断理由

○「やや良くなる」

（商店街）…春になると、天候も良くなり外出しやすくなることに加え、イベント等の行事が増える。

（一般小売店[酒]）…年度末は卒業式等のイベントがあるため、人の動きは活発になるとみている。ただし、来月の衆議院選挙がどれだけ景気に影響を及ぼすかが不透明である。

（スーパー）…物価高の継続による内食需要の増加が期待できる。

（コンビニ）…春以降、天候や気温次第で消費行動が改善する見込みがある。

（観光型ホテル）…熊の出没や日中関係、大雪等が落ち着いて、やや良くなるとみている。

（都市型ホテル）…インバウンドの動きに旧正月の影響が少なからずあることを想定している。

（電気機械器具製造業）…メモリの入手に一定のめどが立ったことにより、受注状況が改善していく見通しである。

（建設業）…現在、競争入札で発注されている案件が複数あり、いずれかを受注する可能性がある。

（通信業）…メモリやSSDの深刻な不足と価格高騰及び円安の影響により、パソコンの価格が上がる予定である。そのため、値上がり前の駆け込み需要が増えるとみている。

（広告代理店）…企業の商品を選ぶ際にも、ESG要素が重要になっている。企業広告のニーズはしばらく続くとみている。

○「変わらない」

（一般レストラン）…手取りが増えることも、物価高が改善することも見通せず、しばらくは厳しい状況が続くことが懸念される。

（農林水産業）…米の価格は、以前のような安値まで下がることはないとみている。

（求人情報誌製作会社）…求人広告の問合せが増えてきているが、転職等の動きが活発な時期に差し掛かっていることもあり、景気が上向く兆候かどうかは分からない。

（新聞社[求人広告]）…衆議院選挙後も円安傾向は収まらず、実質賃金は上がらないと予想している。地方の企業は社員を増やす体力がない。

（職業安定所）…新規求人数は業種別に増加と減少が混在している。全体としては人手不足感が続いており、大きくは変わらない。

○「やや悪くなる」

（家電量販店）…寒さによる暖房器具の需要増加は一時的なものであり、春以降は見込めない。円安により物価上昇が更に進み、購買意欲が低下することを懸念している。

（美容室）…常連客のみで新規客の増加が見込めない。

（その他サービス[自動車整備業]）…金利上昇によるコストアップは販売価格に転嫁できないため、収益率の悪化が懸念される。

（司法書士）…取引先の不動産業者から不動産取引件数が減少しているという話を多く聞く。

本資料は当センターの責任でまとめたものです。

以上